

# 前立腺全摘出術クリニカルパス

様

病日	入院日	手術当日	手術後1日目	2・3日目	4・5日目	6～9日目(7～9日目退院)
日付	/	/	/	/ /	/	/ / / /
観察	入院時・夕方に検温をします 尿量・色をみます(退院まで)	手術前・手術後は3時間毎に 検温・尿量・色を測定をします 足の感覚の有無・嘔気の有無 お腹の動き 傷の痛みはないか・イキミ症状の 有無・尿の管の固定・漏れの有無・ 傷の管の量・色、傷のガーゼに汚 れはないかを確認します	朝昼夕で検温します 1日3回尿量・色を測定します	屋夕で検温します		傷の痛みはないか・1回の尿量 尿漏れがあるかみます
安静度	制限はありません	ベッド上安静です	回診後歩行できます	制限はありません		
食事	午前手術の方は21時より 飲食ができません	午後手術の方は朝8時まで飲水 できます 以降は飲食できません	回診後飲水できます 夕方お粥がでます	朝から普通食が出ます 水分は1日1000mL以上飲むようにしましょう		
清潔	入浴ができます	入浴や体拭きはできません	体を拭きます・管が抜けた翌日からシャワーに入れます・尿の管がぬけたら入浴できます			
排泄	尿を袋にためてください	手術後尿の管が入ります・排便はトイレでできます				尿の管が抜けたら尿を袋に溜めてください
診察処置	毎朝医師の回診があります					
	お腹の毛を剃ります お臍の掃除をします	手術前に浣腸します(朝) 血栓予防具をつけます 傷に管が入ります	血栓予防具を外します 腰の管を抜きます	傷の管の量が減ったら 抜きます	膀胱造影後尿の管を抜きます(6～8日目)	
検査	採血		採血・レントゲン		膀胱造影( / ) 採血(7～9日目)	
薬物	今まで飲んでいた薬を薬剤師が 確認します アレルギーがないか問診表を 確認します	点滴があります・抗生剤の点滴があります 手術後腰の管から痛み止めが入ります  必要な薬だけ朝内服します (内服する際はお伝えします)  痛み・吐気・イキミ症状があるとき は教えてください	イキミ症状・痛みがあるとき は教えてください 飲んでいた薬を再開するか 伝えます			
説明	手術の開始時間・薬・尿の管 血栓予防具・腰の管・傷の管 について説明します 必要書類を確認します		尿・傷・腰の管・点滴の 取り扱い方を説明します 歩くことの必要性を説明 します	5日目～7日目 尿取りパットの使用方法 尿量の測定方法・肛門括約筋運動について説明します		
目標	オリエンテーションの説明内容が 理解できる	床上安静をまもることができる 排尿・排泄に異常がない 痛みがコントロールされている	排尿・排泄に異常がない 歩行ができる  痛みがコントロールされている	排尿に異常がない		排尿に異常がない (吻合部に漏れがなく管が抜去できる) 退院後の注意点が理解できる(7-9日目) 膀胱留置カテーテル抜去後排尿がある

症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2004年9月作成(2017年1月1日改訂)パス委員会承認聖隷浜松病院A4病棟